



お遊戯会



saku



目次

1 日目	1
2 日目	1
3 日目	2
4 日目	3
5 日目	4
6 日目	5
7 日目	6

1 日目

何となく殴るのに飽きたから
何となく鞭を振るった

あまりの荒れくれように動揺していたようだったけど
その動揺も赦せない

この世で一番愚かな動物はヒトだと
誰かは言うね

だけど俺にとって
やっぱりお前は豚だと思ふよ

2 日目

誰でもいいってわけじゃないよ

君の肉が柔らかいってだけで。

鞭を振るっても蠟燭で焙っても

殴って切って

血が出ていても

ただそれが柔らかいってだけで。

血肉が欲しくなったら、また徘徊するだけ。

喰いたくなったら誰でも欲しがる餌を垂らす

腐るほどに。

そうして肉が上手になるとすら思わない

ただの肉塊

其れだけ。

3 日目

誰だって打つ事が出来る鞭なんて痛くないだろう

縄の拘束力なんて、其の実無いだろう？

商品でもない俺もお前も

必要性なんて無い。

涙を流せば赦される

そんなわけないさ。悦んでいると妄言を吐く

所詮

忠犬を演じるペットごっこなんだよ。

4 日目

鎖で繋ぎ

餌皿は一寸触れられない位置

4 日経った

機嫌取りのつもりか わざとらしく鳴く。

其処らのマザーファッカーとでも遣って来たら赦してやるよ

5 日目

悲鳴も聞き飽きた

泣き顔なんて見飽きてるんだよ

そうして恍惚としているのもうんざりだ

ニードルで刻んでやろう

そして縫合してやろうか

狂った笑顔

そうそう

その懊悩の顔だよ。

瓶詰めの舌なんて在り来たりだ

何もかも

6 日目

出来ない方が良くであろう表情

掻くほどの痛覚

刻みつけて

それを捻じ込む事だって簡単だ

ただそれがお前にとって嬉しく楽しい事ならつまらなくなる

俺から喉けても

ただその時は虚しい

模倣でしかなく自嘲だ

何も届かず

俺には何の価値もない

そんな気分になる

7日目

既にお前に触れる必要も無い。

せいぜい乗馬鞭の先やパンキング

自縛を覚え

随分と楽しんでいる

もう必要が無いのだと。

絵皿に用意したものを踏みつけた

吐くまで口へ捻じ込み

身体を汚物で塗りたくった。

わかっている。

『貴方が好きです』

だっていう

ストップワード。

お遊戯会

著 saku

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
